

一、筧 壱ヶ所	字樋詰	長サ	式間	米 壱石	川役
		幅		三升式合	明和七寅年（一七七〇）より
一、水門 式ヶ所	字中嶋	壹尺式寸		藍瓶壹ツ役	
一、堤 式ヶ所	字向嶋	長九拾間	高サ 六尺	丁銀 四匁	此外御運上小物成無御座候
	字上嶋	長八拾間		鐵炮役	
是ハ川除御普請式ヶ所共					
御入用	三ヶ式懸り	御料より被為成下候			
三ヶ壱懸り	出石より被為成下候				
尤近年度々之洪水三而及大破、杭木流失仕候					
一、御菴鷺山	無御座候				
一、川船 内	荷船三艘	式拾石積			
渡船式艘					
一、御高札五枚	但、切支丹御制禁、似せ薬種、毒薬種売買等之御制				
札、并新制札共					
一、鄉藏	無御座候				
一、先前より皆銀納ニ被仰	御廻米無御座候				
一、御小物成					
米 壱石七斗六升壹合	桑役				
米 壱石式斗	山役				
一、川獵 鯉・鱈・鮭・鮎等少々宛取申候					
一、男女平生農業之間					
男ハ薪・樵・繩・葦・繕等仕候					
女ハ冬春布木綿、自分入用程少々致申候					

一、獵師鉄炮	壹挺	持主 市郎右衛門
一、預り威鉄炮	壹挺	持主 要八
右預り証文御代々毎歳差上申候		
一、酒株 弐拾石	持主 与三兵衛	
一、田畠質入直段 八石三斗六升九合	持主 要八	
一、田畠質入直段 壱反ニ付拾五匁より四拾目迄		
一、田畠小作入上げ 田方宛米壹反ニ付六斗、七斗、壹石		
一、田畠小作入上げ 三斗迄		
畠方宛米壹反ニ付弐斗より五、六斗迄		
一、田方		
早稻 苗代四月節ニ入五月中より四十日前蒔付、五 月中旬前後七日前より十日ケ間早稻晚稻共一度		
中稻 植付早稻中稻一度ニ仕申候		
晚稻 八月中より秋土用迄ニ刈取申候		
但し、田方之内早稻中稻晚稻年々ニより不同御座 候		
一、畠方作物		
麦 九月土用之節蒔付申候		
粟 四月中より五月節迄蒔付申候		
大豆 五月節より中迄ニ植付申候		
稗 五月節より中迄之間蒔付申候		
一、出家		
一、山伏		
一、浪人		
一、医師		
一、大工		
一、木挽		
一、屋根葺		
一、馬医		
米三石弐斗	年寄給	
米壹石五斗	肝煎給	
米壹石	山番給	
米三石	稻番給	
渡し守番人給		
一、切支丹類族之義、每年宗門御改帳面之通、村之内老人 茂無御座候		
一、出家	無御座候	
一、山伏	無御座候	
一、浪人	無御座候	
一、医師	無御座候	
一、大工	無御座候	
一、木挽	無御座候	
一、屋根葺	無御座候	
一、馬医	無御座候	
小豆 五月節より中迄之間植付申候		
胡麻 六月節ニ入蒔付申候		
此外種物蒔付不申候 割入度土用卅日後		
一、村方役人給		
一、田畠肥 ほしか、ふか、刈草等入申候		

但馬国氣多郡知見村指出明細帳

未六月

延宝四辰年（一六七六）豊岡京極甲斐守様御検地

但馬国氣多郡知見村

一、高、三百拾壹石武斗三升七合

此反別、三拾四町五反三畝拾八步

内、永荒引

拾貳石七升 永荒引

此反別、式町八反式畝式拾壹步

拾三石武斗 明和九辰（一七七二）荒引

此反別 壱町壹反八畝拾八步

荒高合式拾五石九升

此反別、四町壹畝三歩

残、式百八拾六石壹斗四升七合

此反別、三拾町五反式畝拾五步

内、

田高、式百五拾壹石武斗九升六合 石盛五斗より壹

石四斗迄

〔鶴岡、赤木重通文書〕

生野御役所

但馬国氣多郡伊福村庄屋
要八(1)
年寄 市郎右衛門(1)

同断 久兵衛(1)

百姓代 太郎左衛門(1)

同断 新八(1)

(1) 知見村 安永四年（一七七五）

安永四年

石迄

此反別、式拾三町九反七畝壹步五厘
烟高、三拾四石八斗五升壹合 石盛壹斗式升より壹

此反別、六町五反五畝拾三歩五厘	一、牛 挑三疋	御座候
一、高、四石七斗三升八合	一、馬	無御座候
此反別、六反七畝廿壹步 石盛七斗	一、家數	三百六拾七人
延享三年（一七四六）生野御代官堀江清治郎様御檢	此人数	内、百九十四人 男
地	百壱軒	壱人 道心
一、高、壹石壹斗弐升八合	御高入新田石盛六斗より七	百七十二人 女
斗迄		
此反別、壹反七畝六步		
寛延三年（一七五〇）生野御代官小野左太夫様御檢		
地		
一、高、武石四斗七升	御高入新田	
此反別、七反三畝三歩		
内、		
三斗三升五合	荒引	
此反別、六畝廿一步		
残、武石壹斗三升五合		
此反別、六反六畝拾弐步		
内、		
田高、壹石壹斗八升壹合 石盛五斗より七斗迄		
此反別、壹反八畝廿壹步		
烟高、九斗五升四合		
此反別、四反七畝廿壹步		
内、		
是ハ百姓自普請ニ仕来り候		
一、川除杭堤		
一、堀川筋 用水樋 式拾ヶ所		
是ハ豊岡領之節ハ御普請所ニ而御座候所、當時自普		

請ニ仕候

一、杭井堰

是ハ百姓自普請ニ仕来り候

一、山林・野原・林場

是ハ百姓持林拾五ヶ所。野山当村内山壱ヶ所。残り野山林場當郡伊府村篠垣村入會、肥草薪採申候。

一、米 壱石四斗貳升 山役

一、銀 式拾九匁五分九厘 桑役、茶役、漆役、鐵炮役共

一、米 壱斗九升貳合 御伝馬宿入用

一、同 六斗三升九合 六尺給

一、銀 四拾七匁九分三厘 御藏米入用

一、米 六石四斗貳升 口米

一、銀 八分九厘 口銀

一、猪師鉄炮 壱挺 預り御座候

一、御高札 三枚

内、切支丹御制札

火付類御制札
強訴徒党御制札

一、溜池 壱ヶ所
是ハ百姓自普請ニ仕来り候

一、町市場二而 無御座候

一、御年貢 津出し場 皆銀納ニ而津出場無御座候

一、御籜、御林立山

無御座候

一、当村田畠山山谷川ニ而悪水流込年ニより水損御座候

一、男女農業之間、男ハ繩儀、女ハ布木綿仕事仕候

一、田畠小作入上げ

上々田 壱反ニ付 壱石貳斗より壹石五斗迄

上田 壱反ニ付 壱石貳斗より壹石五斗迄

中田 壱反ニ付 九斗より壹石貳斗迄

下田 壱反ニ付 八斗より壹石壹斗迄

上畑 壱反ニ付 八斗位

中畑 壱反ニ付 六斗位

下畑 壱反ニ付 四斗五升位

下々畑 壱反ニ付 武斗五升位

大工 壱人 御座候

木挽 壱人 御座候

酒屋・油屋 壱人 御座候

醸・醤油屋 壱人 御座候

鍛治口屋 壱人 御座候

山伏・座頭 壱人 御座候

虚無僧・浪人 壱人 御座候

屋根葺 壱人 御座候

神子 壱人 御座候

<p>一、高、百三拾七石六斗四升壹合 此反別、拾四町八反七畝弐拾弐步 高、五斗壹升四合</p> <p>奉差上明細帳</p>	<p>(14) 奈佐路村 天明九年酉ノ二月</p>	<p>〔知見、谷垣久仁一文書〕</p> <p>天明九年（一七八九）</p>	<p>安永四年未六月 日</p> <p>庄屋 八郎右衛門</p> <p>年寄 善左衛門</p> <p>同断 利右衛門</p> <p>百姓代 伝治郎</p> <p>久美浜御役所</p>	<p>一、猿廻 一、非人番 壱人 一、穢多</p>	<p>無御座候 御座候 無御座候</p>
---	-------------------------------	---------------------------------------	---	-----------------------------------	------------------------------

右者此度村役人共立会吟味之上書上申所相違無御座候
以上



写真188 野、知見、奈佐路、宵田、殿村指出明細帳

反別、四畝拾武歩

前々より道溝代土手敷引

内、高、六石八斗九升壹合

本田烟共年々起返御段免

此反別、六反九畝九歩

高、三石九斗七升六合

本田烟新田共

此反別、四反三畝拾七步 蔽成林成起返

残高百武拾六石武斗七升四合 本途毛附

内訳、

田、高、八拾八石七斗四升壹合
此反別、八町四反八畝三歩

内、

上田 高、武拾三石三斗武升

此反別、壱町九反四畝拾步

中田 高、武拾九石三斗八升八合

此反別、武町六反七畝五歩

下田 高、武拾六石五斗四升三合

此反別、六反五畝拾三歩

下々田 高、武石六斗四升八合

此反別、三反七畝廿五歩

中畠田 成 高、武斗四合

此反別、武畝八步

石盛九

下畠田成 高、三斗四升六合

石盛十

此反別 三畝拾四歩

下々畠田成 高、五斗六升

石盛七

此反別、八畝步

下々畠田成 高、八斗壹升六合

此反別、壱反三畝十八歩

下々畠田成 高、五斗三升武合

此反別、武反七畝步

畠高、武拾石七合

此反別、武町武反六畝廿八歩

内、

上々畠 高、武石九斗七升

此反別、武反七畝步

上畠 高、八石五斗三升壹合

此反別、八反五畝拾步

中畠 高、五石壹斗五升四合

此反別、五反七畝八歩

下々畠 高、八斗四升九合

此反別、武反壹畝七歩

新田 高、武拾七石四斗七升八合

此反別、三町九反武畝拾七歩

石盛七

石盛十一

石盛十

石盛九

石盛八

石盛七

石盛四

石盛三

石盛二

田方種当り、上中田壱反ニ付種 下田新田壱反ニ付種 田方反別 四分通 田方反別 六步通 烟作 烟壱六歩 烟作 大小豆、粟、稗、仕附申候	御免三ツ三厘内 五升位 六升位 兩毛作 壱毛作 用候	一、銀、式拾目六分三厘 御藏前人用 一、米、壱石式斗三升 庄屋給米 一、米、式斗 年寄給米 一、当村之儀ハ田畠御検地之節、間竿六尺五寸前々より相 右之通相違無御座候、此外御運上物御林等何ニ而茂御上納 物一切無御座候 用候
明和元年迄ハ杉原七重郎様御知行所ニ而御年貢捨 免地ニ而御座候所、御上知ニ相成同ニ酉ノ年生野 御役所付ニ罷成平岡彦兵衛様御改ヲ受、御上納仕 候。	此取米壱升式合	此詣、除地
一、銀、五拾六匁壱歩三厘 楮代桑代小物成定納、年々無増減御上納仕候	七畝六歩 壱畝步 拾三步 拾壱歩 三畝步 氏神 三ヶ所、堂 壱ヶ所 同道石塔壱ヶ所 三宝荒神敷地 九野木大明神敷地	田中大明神敷地 堂屋敷
一、銀、五拾匁、野山御年貢年々無増減御上納仕候 一、米、五斗 同断、毎年御直段被為仰付、御銀納ニ仕候	一、田畠 七色、赤し、悪し、土浅し、小石砂まじり、山 中ニ而鳥獸多し	一、田方こやし、壱反ニ付油かすハ銀拾匁位、切草ハ拾五 荷位仕候。
一、米、五百七升四合 百姓薪木山御年貢。 毎年御直段被為仰付、御銀納ニ仕候		一、御高札、切支丹御法度、壱まい。強訴御法度、壱まい 一、作之透間男女の稼、男ハ繩筵薪木壳、女ハ布木綿仕候 一、家数 四拾三軒
一、米、八升式合 一、米、武斗七升五合 一、米、武斗七升五合	御伝馬宿入用 御六尺給	

- 内、禪宗門 拾六軒、門徒宗門 式拾七軒
 一、人数 百式拾九人内、男、六拾五人、女、六拾四人
 一、牛 九疋 御座候
 一、当村広サ 東西ニ毫町半、南北ヘ三丁
 一、川幅、 式間余、長サ四町余
 一、木橋、四ヶ所、長サ三間半、幅式尺、自普請ニ仕候
 一、谷川水 北東より南東ニ流下候
 一、御田地用水堰 拾毫ヶ所
 長サ式間余
 高三尺自普受 平均
- 一、村下より大川迄 式拾町余
 一、久美御支配所東隣藤井村ヘ 道法三町余
 一、杉原四郎兵衛様御知行所西隣谷村ヘ 道法式町
 一、当国豊岡御城下江 道法式里
 一、当国出石御城下江 道法三里
 一、当国生野御陣屋江 道法十一里
 一、播州姫路江 道法廿一里
 一、因幡鳥取江 道法十九里
 一、丹後宮津江 道法十三里
 一、丹波柏原江 道法十四里
 一、京都江 道法三十三里
 一、大阪江 道法三十五里

一、御江戸江 道法百五拾里
 寒強し、暑弱し、雪降り四尺位又五尺位も降り申候。
 乍去り、年柄にもより多少之義有り。

一、当村之義往古者御地頭杉原七重郎様御知行所ニ而御座候所、明和九年申年御上知に相成、同二酉年生野御役所付ニ相成、御代官平岡彦兵衛様御支配安永六迄、同七年戌年より同九年子年迄小林孫四郎様御支配、天明元丑年八守屋弥惣右衛門様、竹嶋左善様御預り、同二寅年より同七末迄ハ内方鉄五郎様御支配、同八申年より稻垣藤四郎様御支配ニ而罷有候。

天明九年酉二月

但馬国氣多郡奈佐路村

百姓代 重左衛門

年寄 吉郎兵衛

庄屋 善左衛門

生野御役所

「

〔奈佐路区文書〕

(15) 殿村 文政十三年(一八三〇)

文政十三寅年四月

差出明細帳

但馬国氣多郡殿村

御支配様御交代ニ而、先御支配川崎平右衛門様御引私被為遊跡御支配錦木半十郎様御代官所ニ相成、御引請御手代様より村方明細帳并ニ式拾ヶ年分御割附村絵図差上候様被為仰、今般奉差上候事。

百四拾ヶ年以前元禄四年（一六九一）八木勘重郎様御檢地旨申伝候得共、御檢地帳ハ無御座候。

一、高、式百三拾壹石貳斗

但州氣多郡殿村
内、

五拾四石五斗九升五合 地不足無反別

残高、百七拾六石六斗五合

此反別、拾七町五反七畝式拾五步半

此訛、

田高、百四拾八石壹斗五升五合

此反別、拾三町三畝拾壹歩八厘

高、壹石三斗九合 前々宮地引

此反別、壹反壹畝式拾七歩

内、

高、拾七石三斗八升壹合 前々川欠川成銀氣石
砂入引

此反別、壹町壹畝式拾八分三厘

烟高、式拾八石四斗五升

此反別、四町五反四畝拾三歩七厘

高、五斗七合 前之郷藏寺屋敷引

此反別、三畝式拾七歩

内、

高、三斗式合 辰銀氣砂入引

此反別、式拾四歩

内訛、

上田、拾八石貳斗四升五合

此反別、壹町四反拾步四厘

高、九斗六升五合 前之川欠川成銀氣

此反別、七畝拾式步七厘石砂入引

内、

高、拾七石貳斗八升 毛付

此反別、壹町三反式畝式拾七步七厘

中田、五拾八石八斗五升式合

石盛十二

此反別、四町九反拾式步九厘

高、壹石七斗貳升式合 前々川欠川成銀氣石砂入
砂入引

此反別、壹反四畝拾步五厘

内、

高、五拾七石壹斗三升 毛付

此反別、壹町壹畝式拾八分三厘

烟高、式拾八石四斗五升

下田、四拾壹石七斗五升八合	石盛十一	高、四斗弐升弐合 前々寺屋舗引
此反別、三町七反九畝拾八步五厘		此反別、三畝七步三厘
高、壹石三斗九合 前々宮地引		高、五石九斗四升三合 毛付
此反別、壹反壹畝弐拾七步		此反別、四反五畝弐拾壹步五厘
内、		
高、七石四斗五升 前々川欠川成銀氣土砂入引		麻烟、三石弐升四合
此反別、六反七畝弐拾壹步八厘		此反別、弐反三畝七步八厘 毛付
高、三拾弐石九斗九升九合 毛付		高、五石九斗四升
此反別、弐町九反九畝弐拾九步七厘		山椒烟、五斗四升
下々田、武拾九石三斗	石盛十	上烟、四石弐斗五合
此反別、弐町九反三畝步		此反別、四反六畝弐拾壹步五厘 毛付
内、		中烟、七石九斗五升七合
高、壹石弐斗四升四合 前々川欠川成銀氣石砂入引		此反別、壹町壹反三畝弐拾步壹厘 毛付
此反別、壹反弐畝拾三步三厘		下烟、四石五斗三升六合
高、弐拾八石五升六合 毛付		此反別、壹町壹反三畝拾壹步八厘
此反別、弐町八反拾六步七厘		高、三升弐合 辰川欠川成石砂入引
屋舗、六石四斗五升	石盛十三	此反別、弐拾四步
此反別、四反九畝拾八步五厘		高、四石五斗四合 毛付
内、		下々烟、壹石四斗弐升八合
高、八升五合 前々郷藏屋敷引		此反別、七反壹畝拾壹步六厘 毛付
此反別、拾九步七厘		山烟、三斗一升
内、		石盛壱ツ
高、八升五合 前々郷藏屋敷引		石盛弐ツ

- 一、新田見取場
此反別、三反壹畝步四厘 毛付 無御座候
- 一、当村之義往古元禄十五午年（一七〇二）迄御私領八木勘十郎様御知行所ニ御座候。元禄十六未年（一七〇三）より御料所罷成候
- 一、御檢見之節、内見六尺五寸竿用ひ來り申候
- 一、家数 六拾軒 内高持 五拾壹軒、水呑 九軒
惣人數 弐百九拾六人、男 百六拾武人 女 百三拾四人
- 持牛 拾四疋 馬 無御座候 但し高三拾壹石貳斗貳升七合、他村より入作御座候。
- 他村江出作高無御座候
- 一、寺 壱ヶ所 浄土真宗 京西本願寺末寺真光寺
- 但、高四斗貳升貳合 前々より寺屋舗引高ニ御座候
- 反別、三畝七步三厘
- 一、社三ヶ所 四季宮 八幡宮 荒神宮
- 但、高壹石三斗九合、反別壹反壹畝廿七歩、前々宮地引、前々より神主別當無御座候
- 此間ニ鄉藏を出ス。除地之外も右寺宮振合ニ出ス。
- 一、堂 壱ヶ所 観音堂 但し堂屋敷御年貢地 村支配ニ御座候
- 一、当村隣郷 東ハ栗山村ヘ十七町 西ハ羽尻村ヘ 七町 北ハ広井村ヘ 八町
- 生野御陣屋江 道法 拾壹里 水戸江 道法 百五拾九里
- 京都江 道法 三拾三里 大阪江 道法 三拾六里
- 三ヶ都江海上之里數不奉存候 出石御城下江 五里 豊岡御城下江 五里
- 一、御林 無御座候
- 一、百姓持林 四ヶ所 但し無反別ニ御座候
- 城山 上ノ山 向山 須山 小物成米 壱石六斗
- 右四ヶ山之内ニ而上納仕来り申候
- 一、村中入相山 秩場 是ハ羽尻村江入相、肥草薪取來申候
- 一、当村之義 山附ニ而御座候
- 一、当村之義 市場ニ而ハ無御座候
- 一、当村より助人馬出し候儀無御座候

一、当村之義、源山之谷口ニ而、川筋荒石之川ニ付、洪水

之節ハ水損余程御座候。全躰土地不宜、其上阿瀬川銀

氣水ニ而用水引來り申候ニ付、銀氣燒ニ罷成、立毛生
立兼候。溜池出水掛り無御座候。尤も田ノ口川懸り少
々御座候得共、年々旱損勝ニ御座候。難波之村方ニ御

座候

一、橋 壱ヶ所 但、丸木橋ニ御座候

此橋阿瀬川筋西より東へ流れ出候、居村之北之方ヲ

流れ申候。当村地内川筋凡千百間、川幅八間、荒石

之川ニ御座候。

一、御高札場 壱ヶ所、御高札 三枚

此橋阿瀬川筋西より東へ流れ出候、居村之北之方ヲ

流れ申候。当村地内川筋凡千百間、川幅八間、荒石

之川ニ御座候。

一、井堰 三ヶ所 上ツ井、中井、大井

但し上ツ井、中井ハ羽尻村と立会堰申候。大井ハ羽

尻村広井村三ヶ村立会堰申候。外ニ壹ヶ所御料所広

井村より引申候

一、郷藏 壱ヶ所

但、屋敷高八升五合、此反別拾九步七厘 前々引高

ニ相立候

一、小物成御運上

小物成山役米 米 壱石六斗

銀 弐百三拾五匁六分弐厘

小物成桑役銀 銀 拾匁

酒造冥加銀

此外小物成御運上物無御座候

一、高掛り物

米 壱斗三升九合

御伝馬宿入用

米 四斗六升弐合

六尺給

銀 三拾四匁六分八厘

御藏前入用

此外高掛り物無御座候

一、御国役掛り高、助人馬并御廻米、江戸京大阪納方一切

無御座候

一、御口米 但本途小物成共壹石ニ付三升づつ

一、生野御口蔵納米、道法拾壹里之内五里ハ百姓持着、六

里之分壹里ニ付貢銀三拾文宛被為下置候

一、御年貢米之内定式銀納ニ而申証無御座候

一、大阪御城内外竹藁繩代、御鉄炮玉薬入用之掛りもの無

御座候

一、海川之獵 鳥獵 無御座候

一、田方苗代 早稻中稻晚稻共八十八夜時分植付ハ五月

中迄、刈上ハ秋彼岸より追々ニ而刈取申候

候

一、畠方麦蒔 大雪積候故ヘ、秋季ニ入候得バ蒔付、五月

中十五、六日以前より段々刈取り申候

大小豆ハ五月中迄ニ蒔付、秋土用迄ニ刈取申候

大根ハ 夏土用中ニ蒔付、十一月ニ引取申候

蕎麦ハ 秋季ニ入候得ハ時付、秋土用ニ刈取申候

文政十三年寅四月

一、村方役人給

庄屋給米

料武拾五匁相渡

年寄給

無御座候

定役壹人給米 五斗五升、百姓より出し申候

一、男女平生農業之間、稼之儀ハ、男ハ繩、俵、牛ノ道具、

薪等之用意又ハくづなど堀り、糧ニ仕り候。

女ハ夏中畑方之草引、冬春ハ布、はた仕り、又ハ草

木ノ葉取撒、糧ニ仕候。

一、阿瀬川筋御普請場 武ヶ所

字村之前 壱ヶ所

字古宮 壱ヶ所

一、出家 壱人 御座候

一、切支丹類族 無御座候

前書之外無御座候

右ハ当村様子、明細帳書上之外無御座候。

為後日、村役人連印仕奉差上候。

但州氣多郡殿村

百姓代 理左衛門

年寄 安次郎

庄屋 庄左衛門

生野御役所

〔殿、多田辰夫文書〕

⑯宵田村 弘化三年（一八四六）

弘化三年 但州氣多郡

明細帳 控

午三月 宵田村

但馬國氣多郡宵田村

江戸陸道 百五十三里余

大阪陸道 三拾五里余

平安城陸道 三拾武里余

一、高、百式拾七石壹升四合

此反別、拾町六反貳畝拾八步

内訛、

屋敷、壹町六反九畝拾武歩 石盛十三

分高、貳拾貳石貳升八合

上田、武町八反七畝三歩 石盛同断

分高、三十七石三斗貳升三合

中田、三町貳反五畝拾八步 石盛十二

分高、三十九石七升貳合

下田、三反四畝六歩	石盛十一	一、東、朝來、養父、氣多郡流寄集申候川ニ御座候
分高、三石七斗六升弐合		一、土地 真土、砂土ニ而御座候
上々烟、四反四畝三歩	石盛十二	一、小舟 壱艘 但、弐拾石積
分高、五石弐斗九升弐合		一、寺 式ヶ寺
上烟、五反四畝九歩	石盛十一	淨土宗 蓮生寺
分高、五石九斗七升三合		淨土真宗 本行寺
中烟、壱町五畝九歩	石盛十	一、氏神 山王權現ニ御座候
分高、拾石五斗弐升		一、西宮大神宮 御座候
下烟、弐反四畝十弐步	石盛八	一、当村ニ諸商、物売仕候市場ニ而、年内、七月五日、十 日、十二月廿日、廿五日。四度市場仮屋仕候。
分高、壱石九斗五升八合		一、女稼 春冬者雨天勝ニ而木綿仕置申候。 夏秋八蚕、畑作物、手入仕候。
下々烟、壱反八畝九歩		
分高、壱石九升八合	石盛六	
高合、百弐拾七石壱升四合		一、当村 東西武町五間、南北四町五拾間 隣郷 御支配所 岩中村
内、		一、百姓四壁 松其外無御座候
高、五石八斗三合 御私領中御免除之處		一、男稼 耕作隙、薪。雪中ハ木綿壳賣、駄賃持致候。 右者当村今般御支配替ニ付、御吟味被仰渡、依之前書 之通申上候處無相違御座候。仍而村役人連印ヲ以奉差 上候。
内、反別、三反九畝三歩	同断	
高、壱石四斗六升九合 寺屋敷御免除成		
反別 壱反壱畝九歩		
高、四石三斗三升四合 野畠堯返成		
反別、弐反七畝廿四歩		
一、酒造 稲人、式軒 御座候		
一、当村御私領中ハ御代々諸役免除之御判物頂戴仕候		
弘化三年午三月		
但州氣多郡		

宵田村百姓代 源兵衛	一、高、三升五合 田方 同村新田 石盛七
年寄 又七郎	此反別、抬五步
同断 源左衛門	一、四斗 小物成
庄屋 次郎衛門	一、武石壱斗七升六合 口米
生野御役所	一、銀 拾四匁武分九厘 小物成
	〔宵田、熊田猛文書〕
(17) 庄境村 弘化三年（一八四六）	一、銀 四分武厘九毛 口銀
	一、米 五升四合 御伝馬宿入用
弘化三年	一、米 壱斗七升九合 六尺給
但馬国氣多郡庄境村差出明細帳	一、銀 拾三匁四分五厘 御藏米入用
丙午三月十五日認メ 下書控ヘ	一、家数 廿七軒 御座候
	人数 百四拾四人
	内訳 男 七拾三人
	女 七拾一人
延宝四丙午年（一六七六）豊岡京極甲斐守様御検地と聞	一、村役人給米 八斗九升六合 庄屋給
伝へ候得共水帳ハ無御座候。	一、村之内用水之川 御座候
一、高、八拾九石六斗五升四合	一、村之内 東西 壱町斗り
内、五斗武升四合 地不足	南北 壱町半斗り 御座候
此反別、九町武反六畝六歩五厘	一、牛 四疋
田方、八拾石武斗九升七合 石盛七斗より壹石三斗	馬 御座候
迄	烟高、八石八斗三升三合 石盛壹石武升より九斗迄
此反別、七町三反壹石十八歩五厘	一、御高札三枚 無御座候

但し、切支丹御制禁 壱枚

火附候御制禁 壱枚

徒党強訴御制禁 壱枚 御座候
一、御年貢 豊岡町上中下三段平均五匁増、皆銀納ニ而御

座候

一、百姓持之山林 少し宛御座候

一、田畠 肥草、灰、だる肥、仕候

一、耕作之外ニ男ハ繩、俵、薪
女ハ布、木綿、少し宛仕候

一、土橋 二つ 十戸村と立合ニ而御座候
一、町場、市場 無御座候

一、村之内 石橋六ツ 御座候

一、御林、御籜、御立山 無御座候

一、田畠小作人 預ケ

一、氏神 二社 御座候

右ハ此度村役人共立合吟味之上書上申段相違無御座候

以上

但州氣多郡庄境村

百姓代 吉右衛門
年寄 久右衛門

庄屋 定治郎

生野御役所

〔庄境区文書〕

(18) 羽尻村 明治七年（一八七四）

「明治七年十二月」

地誌一村限り取調書上帳

三大区三小区、羽尻村

境界

東、同国同郡殿村耕地字越前境

西、同国七味郡輝山村山境字峠尾境

南、同国同郡觀音寺村山境字はん谷尾切

北、同国同郡田ノ口村山境字つこ谷山尾境

里数、東西 五拾町、南北 廿六町

周囲、百五拾町

距豊岡縣、五里、内西京西街道江原村へ武里

寒暖

暑、七十六、七度より八、九度迄
寒、十七、八度より廿度迄

戸数、百二十軒、平民本籍

口数、合計、五百七十三人、男 三百拾七人、女 二百五十六人

神社	三ヶ所	武百八石或升五合
万場社	壱ヶ所、村中、字川畑、鎮座	内高、百武拾或石四斗壱升或合
八重垣社	壱ヶ所、村中、字広瀬、鎮座	外二高、武拾壱石壱斗六升壱合
若宮社	壱ヶ所、村中、字滝谷、鎮座	高、武石五斗八升 無高入 新田
土産		反別、式町七反壱畝九分 大繩場
生糸繭	武百貫目	米 式拾五石武斗六升四合
麻苧	百五拾貫目	
田蓑	百枚	
炭	八十駄	
紫蕨	二十貫匁	
牛数	十九疋、但、牝、和種	
威銃	三丁 諸持	
官林	当年壱丁御鑑札願上候。残二銃ハ御鑑札休銃ニ御座候。	
三ヶ所		
字そぶ滝山谷山寺山壱ヶ所、反別	二十五丁歩	
字たじろ谷壱ヶ所、	反別二丁歩	
字たさんド谷壱ヶ所	反別三反三畝拾步	
耕宅地税、金、百拾壱円五拾壱錢九厘八毛		
山野稅		
金、壱円三拾七錢五厘四毛	山役稅	
金、式拾武錢八厘	桑役稅	
金、六拾武錢三厘	炭燒稅	

旧高	武百八石或升五合	地不足
内高	百武拾或石四斗壱升或合	古新田
外二高	武拾壱石壱斗六升壱合	新田
高、武石五斗八升	無高入	大繩場
反別、式町七反壱畝九分	米 式拾五石武斗六升四合	
小物成		
山野稅	四斗	
金	八錢七厘六毛	桑役
金	九錢九厘五毛	桑役
金	六十武錢武厘七毛	炭竈役
金	五円	酒造稅
沿革		
往古より御料生野銀山支配、其後嘉永五年御代官望月		
新八良より久美浜御代官増田作右衛門へ御引渡し。明治		
元年正月御一新以来參謀小笠原美濃助支配。		
地形		
四面平坦、馬車不可也。耕地中央谷川有、舟運不可也。		
村中一円山有。炭薪肥料不足。		
産業		
男子ハ耕作、炭焼又ハ養作り、商業トス。		
婦人ハ養蚕、衣料作ヲ業トス		

検見

寛永年中生野御代官中野吉兵衛検地。明和三亥年平岡彦

兵衛無高入新田検地。

耕宅地、反別 拾貳町五反九畝貳拾三分

橋料

板橋 長サ 六間半、幅 式尺五寸

土橋 長サ 五間、幅 五尺

其他 小橋 十ヶ所

右取調候処相違無御座候 以上

明治七年十二月

堤防 自普請場 式百九十五間

右村百姓代 谷垣助左衛門

用掛

中嶋新右衛門

田中豊岡縣參事殿

〔殿、多田辰夫文書〕

(19)十戸村 明治七年（一八七四）

〔明治七年十二月〕

地誌一村限 調帳

第三大区三小区、十戸村

一、境界

東、但馬国氣多郡十戸村字土橋東ノ詰メ境

西、同國同郡石井村耕地字野道境

南、同國同郡十戸村橋向ノ詰メ石井往来道境

北、同國同郡頃垣庄村庄境十戸右三ヶ村入会山字せい坂峯

境

一、里数

東西 八丁

南北 四丁

一、周囲 式拾四丁

一、距豊岡縣四里、西京街道江原村迄壹里十四丁

一、寒暖、暑、七十八度、寒、二十度

一、戸数、合計、五十軒、平民本籍

一、口数 式百人、内男、百三人、女、九十七人

一、氏神社

一、末社 壱ヶ所、火明神 字同所

一、末社 壱ヶ所、産國明神 字小池

一、土產

一、蘭 二十貫目

一、麻苧 七十五貫目

一、桑 四百貫目

一、牛数 山葵 税米五升

一、牝 三疋 和種

一、牛数 牝 三疋 和種

一、威銃	壱挺、当年御鑑札御願不申、休銃ニ御座候
一、獵銃	壱挺、当年御鑑札頂戴仕候
一、耕宅地税、金	貳百拾壹円三十七錢七厘四毛
一、酒造税	金五円
一、旧高	百四拾三石四斗八合
内、壱石五斗五合	地不足
米、七拾石五斗六升三合	
金、貳百四拾貳円貳錢四厘貳毛	
米、三斗	山稅
金、壱円三十三錢三厘九毛	桑役
小物成、金、二十九錢九厘貳毛	
一、沿革	
享保十一丙午迄京極土肥之助領地、同十二未年ヨリ生野 御代官平岡彦兵衛支配、其後嘉永四亥年ヨリ野津新八郎 支配、同五子年ヨリ久美浜御代官寺西直次郎支配、慶応 四年正月より生野御代官折田要藏支配、明治元辰年よ り御一新、以来參謀小笠原美濃輔支配。	
一、地形	
四面平坦、車馬不可也。石井村耕地境、川有り。舟運無 し。寅卯五丁隔、入会山有り。肥草乏し。炭薪乏し。	
一、産業	
男子ハ耕作之間ニ繩弛ヲ業トス。	

婦人ハ養蚕或ハ麻紹布ヲ業トス。

一、耕宅地

反別拾六町六反貳畝廿五步五厘

一、郵便取扱所

壱ヶ所

一、橋梁

壱ヶ所、板橋 長八間、幅貳尺

外ニ板小橋 四ヶ所

長壱間半、幅壱尺三寸

土橋

三ヶ所

長壱間半、幅六尺

土橋

壱ヶ所

長壱間半、幅六尺

十戸庄境両村之橋

右之通相違無御座候

明治七年十二月十五日

右村百姓惣代

杉立久吉

(印)

用懸り

田村文右衛門

(印)

〔十戸区文書〕

㉚大岡寺村 明治七年（一八七四）

〔明治七年十二月〕

地誌一村限取調帳

第三大区四小区、大岡寺村

境界

東、同国同郡河江村山、当村野山字東坂鳥居屋敷堺

西、同国同郡太田村山、当村野山字太田坂鳥居屋敷堺	耕宅地税 金、四円八錢壹厘
南、同国同郡山宮村山、当村野山字南坂鳥居屋敷堺	駕籠税 金、貳拾五錢
北、同国城崎郡目坂村山、当村野山字椒坂鳥居屋敷堺	旧高、六石七斗
里数、東西、貳拾丁、南北、貳拾五丁	米、壹石壹斗九升、本田新田畑共
周囲、壹里三拾壹丁三拾二間	沿革 此以前、不成詳
距豊岡県、陸三里、城崎郡奈佐谷通	宝永三年 仙石越前守政明
寒暖度、極暑、七拾二度、極寒、三拾五度	天保七年 久美浜代官和田主馬
戸数、合計十二戸、平民、本籍、拾二戸	同九年 生野代官大草太良左衛門
口数合計、六拾二人、男、三拾六人、女、二拾六人	同十一年 久美浜代官和田主馬
神社、三箇所	同十四年 生野代官大草太良左衛門
鎮守熊野權現、寺中、字本堂上、鎮座	嘉永五年 久美浜代官増田作左衛門
大岡明神、山社、字北之谷、鎮座	明治元年 久美浜小笠原美濃之助
白山權現、山社、字寺ノ上、鎮座	地形 四面険岨。牛馬車者不便。村軒隔。東西南北険岨。薪炭不足。海ヲ隔六里。魚塩乏し。
寺院、壱ヶ所、真言宗大岡寺、大岡寺村字大岡山	産業 男子ハ耕作ヲ業シ、間ニ炭薪壳ヲ為ス。 婦人ハ耕作ヲ業シ、間ニ麻糸ヲ為ス。
土産 米 拾石 大豆 壱石貳斗 小豆 式石 稗 四石 蕎麦 三石 生糸 五百貫目 五百目	

耕宅地税 金、四円八錢壹厘
駕籠税 金、貳拾五錢
旧高、六石七斗
米、壹石壹斗九升、本田新田畑共
沿革 此以前、不成詳
宝永三年 仙石越前守政明
天保七年 久美浜代官和田主馬
同九年 生野代官大草太良左衛門
同十一年 久美浜代官和田主馬
同十四年 生野代官大草太良左衛門
嘉永五年 久美浜代官増田作左衛門
明治元年 久美浜小笠原美濃之助
地形 四面険岨。牛馬車者不便。村軒隔。東西南北険岨。薪炭不足。海ヲ隔六里。魚塩乏し。
産業 男子ハ耕作ヲ業シ、間ニ炭薪壳ヲ為ス。 婦人ハ耕作ヲ業シ、間ニ麻糸ヲ為ス。

検地、不詳

リコノ尾ヲ以テ彊シ、北ハ本郡大岡寺村ト本村字大タワ

耕宅地、反別毫町毫反毫畝二拾歩、本田新田畠共

ヲ以テ彊ス。

右之通取調仕候也

明治七年十二月（一八七四）

右村用掛兼帶

椒村用掛け

安田平左衛門

印

〔大岡区文書〕

㉑山宮村 明治十六年（一八八三）

「明治十六年十一月

地誌編纂係取調書

但馬国氣多郡山宮村

地誌編纂二係ル取調節目

山宮村

本村昔時太田庄、氣多郡ニ属し明治五年六月区画ヲ設、

是ヲ第三大区四小区ニ編入ス。明治十二年一月、区画ヲ
廃シ、郡役所出石町ニ置キ是ヲ隸ス。

彊域

東ハ本郡頃垣村ト本村字下野ヲ以テ彊シ、西ハ本郡柄本
村ト本村字板橋ヲ以テ太田川境、南ハ本郡石井村ト本村

幅員

東西□□三拾間、南北拾八町三拾間

管轄沿革

往時延文三年山名氏領主、天正八年羽柴秀長領し文禄四年小出大和守領し、元禄九年生野御代官支配、元禄十年松平伊賀守領し、宝永三年仙石越前守領し、天保九年上地トナリ、爾後明治初年迄生野久美浜之御代官支配トナリ、明治元年久美浜県ニ属し、同四年豊岡県ニ属し、同九年ヨリ兵庫県ノ管轄ニ属ス

里程

県庁ヨリ西北、距離四拾武里

東ハ大岡寺村エ廿八町四拾三間、西ハ柄本村八町四拾間、南ハ石井村エ拾八町八間、北ハ太田村エ弐拾一町廿五間。

地勢

東西南北山及畠ヲ以テ四面ヲ囲ミ、運輸不便、薪炭ニ乏シカラズ。

地味

其色黒ク、質張薄、稻梁ニ宜カラズ。桑茶ニ適セズ。水利ナシ。年々旱損ノ場所ニ有ス。

4 3 2 1	No	村名	江戸前期	江戸中期	江戸後期
猪伊			正保二、寛文八	宝暦二、明和八、天明八	弘化五
殿谷			延宝七	享保十五	天保十五
爪府			寛文十一、延宝四	安永六、寛政一、二、四、五	嘉永三、文久三
			元禄四、六、安永八	天保六	天保六

村々人別石高反別集計表目次

第二節 村々人別石高反別集計一覽表（第十一章第二節参照）

川
大岡山高サ凡百式拾余丈、本村ノ北ニ有り。山脈東ハ本郡頃垣村ノ山ニ連り、西ハ本郡太田村山ニ連り、樹木少シ有、黒土、山嶮岨、本村ヨリ登路壹条アリ、本村ニ係ル溪水壹条アリ、本村耕地用水トス。

道路
清水川、源ヲ字清水谷ヨリ発シ、本村北ヨリ本郡頃垣村ニ下流シ、本村延長千百間、幅壹間余、平時流水僅少、舟筏ニ利ナシ。

兵庫県令森岡昌純殿
岡本由右衛門
〔山宮区文書〕

農業 民業
前書ノ通り取調候處相違無之候也
明治十六年十一月（一八八三）
但馬国氣多郡山宮村惣代

七味街道、一等里道ニ属ス。南石井村ヨリ西柄本村ニ至ル、本村延長七町廿間。

		番号	①正保二年（一六四五）検地名寄帳	
三	二	一	氏	伊府村人別石高集計一覽表
与	与	彦		
右	左			
八	八			
衛	衛			
門	郎	門	名	
一	六	二	石	石
九	九	二	六	高
六	六	一	石	
二	五	九	〇	

一一〇	九	八	七	六	五	四
甚	与	二	五	与	彦	三助
		郎	郎		郎	
五		左	右	兵	十	左二
		衛	衛		衛	
郎	助	門	門	衛	郎	門

九	〇	一	一	一	一	二	二	一	三
.
三	二	四	三	四	〇	九	〇	八	七
三	二	〇	五	九	九	〇	七	六	八

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
知	稻	府	河	藤	石	頃	栗	庄	椒	
見	葉	場	江	井	井	垣	山	境	芝	(申)
寛文一							寛文十一			
宝永七、寛保三							元禄四			
文久一							天明一			
文化十							享保七、宝曆十二、明和六			
明治一							天保六			
文政十二、万延一、二、明治三							文化十四、天保二			

第三部 近世

	三 三 二 二 二 二 二 二 二 二 一 一 一 一 一 一 二 一 ○ 九 八 七 六 五 四 三 二 一 ○ 九 八 七 六 五 四 三 二
總	孫 孫 新 五 甚 又 彦 小 彦 孫 助 久 甚 市 与 新 又 市 彦 弥
計	右 左 右 左 左 右 右 左 九 兵 太 三 三 三 十 七 二 五 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛
	門 八 郎 衛 吉 門 夫 門 郎 郎 門 門 郎 門 郎 門 郎 郎

番号	寛文八年（一六六八）名寄帳							人數	石高区分
	二	九	八	二	人				
九 八 七 六 五 四 三 二 一									
弥 与 六 久 与 孫 右 三 彦	氏								
右 右 郎 三 郎 右									
左 兵 左 太 兵 左									
衛 衛 衛 衛									
門 門 門 衛 門 夫 衛 門 門	名								
一一一 一二一 一二一 一三一 一三一 一四一 一六一 三〇一 石									
一 . 一 二 . 二 . 二 . 一 三 . 一 三 . 一 四 . 一 一 一 一 五 五 五 五 石									
一 八 九 一 四 二 五 九 〇 八 八 五 二 一 八 七 三 一 六 一 一 三 六 一 一 五 六 五 一 一 一 一 石	石 高								

三三〇九八七八六五四三三二一〇九八七六五四三三二一〇

市喜孫久孫彦与久久喜与庄次三助孫三新七与五仁
 左三右郎郎郎右郎郎右
 兵三七五兵右兵一兵右兵兵左兵右
 衛衛衛兵衛兵衛衛衛
 銀郎郎門衛門門作衛郎衛衛門七衛衛門門衛門門

一〇一
 四四五五五五五五六六六六七七七七八八
 六五〇〇三五八一四三九六一八六三五〇三五八八
 九四四六八七五四三六二三二四九六一五九三五九
 八四四四四四八七五四三六二三二四九六一五九三五九

人數	石高区分	總計	仁八五弥五七又彦小又小次 郎郎郎郎左左右郎 兵兵兵兵左右太十左 兵衛衛衛衛衛衛衛衛 衛衛衛市門門門夫門郎門門
%		三二四·一〇五	一·一·一·一·二·二·三·四· 〇·五·八·五·一·一·六·三·〇·一·八·八·二·二·六·六·五·二·九·一·三·三·四·〇·六·三·一·七
四八〇〇一人	石高計		
一一二三〇 五〇〇〇三〇 一一二七〇 三五〇七〇 一六四四二 一八〇二	五六五 五六五		

第三部 近世

③ 宝曆二年（一七五二）高改帳

番号	氏名	石高	次郎
八七六五一三四二一〇九八七六五四三二一	文宮利道彦治重定豊岡広栗山隆佐田六広彦五与		
左太郎之次衛左衛衛	忠安太左右左國右衛郎衛衛	兵	
七分門門進門郎七門門門寺門門八門門衛			
四五五八八九〇一二一三三四一九〇三三二二三三〇三二石	四五六八〇四〇四五九三六四五七四一〇一九八七〇四四五二九六七	二五六七二	高野山後
九三五七八〇四二〇四五三六四五七四一〇一九八七〇四四五二九六七	六八三一九九八五		常猪子垣
四三三八三七三五六三四三三二三〇九八二七二六二五三四二二二〇一九			次郎
文幸助芝作又市八助藤与弥三知見恵与彦江原	右伝右右右右右右郎八郎三与吉		
四次右衛衛衛衛衛衛衛衛兵兵兵兵兵兵	右郎左兵三右衛兵衛兵衛	光徳	
郎郎門門門衛門門助門門門助門衛衛門院門			
一一一二二二二二二二二二二二二三三三三三四四四	六八六〇七九五	四五二三四五	四五
二二四四五五六七二九二九〇三九一四一八一四六九〇三五			

六二六六〇五五五五六五五三五一〇四五八四七四六四五四五三四二四一

六太伊久平野村三久伊儀高所八藤弥五權長觀音寺平孫
 右善郎左久郎右衛郎次又彥太
 兵次五左兵平左兵右郎右衛
 衛次衛衛衛衛後衛後衛
 衛助門郎郎門門衛次門衛家吉衛門七家門市八夫

一一一一
 三〇三〇四四四五四五〇五〇五二五六五八五六一六六三六六九四七一六七五八七七三九一二九四五一三一三四七〇一三三五

五 五 五 七 三 二 人	人 數
五 〇 一 〇 〇 一 〇 〇	石 高 區 分
九 一 六 一 · · 五 七 八 四 九 · · 八 六 四 · 三 五 九 〇 · 三 八 五 五	石 高 計
二 五 〇 一 · · 八 二 三 五 九 〇 · 三 八 五 五	%

七 二 七 一 〇 六 九 六 八 六 七 六 六 六 四 六 三
川原文藤權吉長權助忠 兵左 四四四衛次三 衛後 七平郎郎家門郎郎助
三五四·六三〇
〇一〇二〇〇九〇〇九六一六四二二八三三七二五四二六四二九七

第三部 近世

④明和八年（一七七一）名寄帳

番号	氏	名	石高
八七六五四三四二一〇九八七六五四三二一			
彦宮喜治利彦常定七直理四芝与五太隆彦 左右郎五左左 兵光三平左郎平郎国 衛衛衛右衛衛 市分七門門衛寺七郎助次門門衛八門門寺門			
四五五六七七七七一〇一〇一二一三一〇二九三六六〇·石 五五五一三一三四六八六七六三二六〇一一七六三四三五〇八 八五〇三六九三〇九九五三五五五			
四三三三三三三三三三三〇二九二二二二二二二二一〇九			
与佐助喜市惣覺磯儀浅与三勘弥幸孫小文久市嘉左 右右右郎右三郎右右 兵右左右兵兵四兵四兵兵兵 衛衛衛衛衛衛衛衛衛 門門門衛門八心八助門門門衛衛郎衛門郎門衛助衛			
一·一·一·一·一·一·一·一·一·一·二·二·二·二·三·三·四·四· 九·九·九·六·七·八·二·三·三·五·七·六·六·六·七·一·七·四·五· 八·八·三·三·九·四·七·八·一·〇·六·四·八·四·七·六·七·二·五·			

六六六五五五五五五五五五五五四四四四四五三四二一

忠六七嘉五孫文丈久重野又伝嘉助利三幸重勘市幸

郎	郎	右	右久右	郎	右左
兵	左	兵	左	左	次
衛	衛	衛	衛	衛	衛

助衛門衛門門郎助衛門門門八助平門門郎郎門門郎

三三三三四六三六三八五三三三五四三五四四〇四七五四八三五七九五九六五九九五六一三五七五五七一八七四八七七九八〇三八四五八三八五

人數		總計	七四七三七二一〇六九六八七六六五六四六三											
石	高区分		佐	田	伝	孫	市	円	權	伊	文	營	常	伝
一 五〇〇〇〇	一二三 石	助	重	左	左									
六五四四三 六四七一一 六四四七七〇 五七四四二〇 二六六〇四五 七五五五	右 衛	右	五		平	次	三							
九五三二二 四九八二五 九三七〇一	郎	門	六	門	郎	心	平	衛	門	郎	八	郎		
			○	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	三〇二
			一五	二三	二二	四六	七	五七	一六	七八	一〇	二一	二七	二八
			三五											

(5) 天明八年(一七八八)名寄帳

番号	氏	名	石高
八一七六五四三二一〇九八七六五四三二一			
武惣金助重御喜栗山篠垣八理九鹿佐広井芝隆栗山彦			
左作与右浅弥磯儀千太右 次宮平右平右治左国左衛門 兵衛兵衛衛衛衛衛衛			
門分衛門郎分治門衛平次門郎門郎寺門門			
四四四四四五五六七九一〇一〇一一六二三五三三四·八 一九五二九三二三五六六二五三七二八五二四一九五五 一九五二九一七五八五五			石 高
四三三三三三四三三三三〇九二八二二五二四三二二一〇九			
せ弥小与利藤直直伝市元市小治長常定勘与孫幸新 右三郎右左右 兵左八五右次兵光五兵兵次 衛衛衛衛衛衛衛衛			
き門衛門郎八七郎八門郎衛門門八寺郎門衛衛助郎			
七〇七一七八四〇五七六七七八〇五八四〇八七〇九一五五 一〇五〇七五〇九五〇二六七六五一四三〇一五三八五 一九五五〇五三五一九九五〇五三五二二〇五一五 三·九四一五二八〇五二九六五三·七五九			

六 六 六 五 五 五 六 五 四 五 三 五 二 一 ○ 九 八 四 八 四 六 四 五 四 三 二 四 一
二 一 ○ 九 八 七 六 五 五 三 五 二 一 ○ 九 八 七 六 五 五 三 二 四 一

林 太 治 治 利 三 吉 伝 德 勘 丈 元 与 文 野 平 孫 友 久 七 儀 常
郎 郎 左 久 左 左 郎
次 郎 衛 三 兵 兵 次 左 三 次 左 四
兵 門 衛 衛 衛 衛 衛 衛
八 郎 衛 吉 八 家 藏 郎 衛 衛 助 七 門 郎 門 郎 門 郎 門 門 助 郎
八 郎 衛 吉 八 家 藏 郎 衛 衛 助 七 門 郎 門 郎 門 郎 門 門 助 郎

二〇三 二〇六 二三三 二三四 二四一 二六二 二九一 三〇二 三〇三 四二一 四三二 四七四 四八〇五 四七八五 四八八 五〇三 五一二 五一七五 五九九五 六二九五 六三九五 六三九五

人 数	石 高 區 分	總 計	三 四 四 • 六 〇 三
六 一 四 四 二 三 人		七 四 三 七 三 七 一 〇 六 九 八 六 七 六 六 五 六 三	
一 二 三 〇 〇 一 二 三 石 五 〇 〇 〇	石 高 區 分	佐 田 佐 重 太 庄 伝 丹 常 市 清 紋 豊	
六 二 四 四 五 六 九 九 〇 五 四 五 九 〇 二 四 六 〇 〇 五 五	石 高 計	重 助 右 右 三 衛 衛	四 兵 次 五 次
一 九 八 一 四 四 三 三 四 二 八 九 七	%	門 郎 門 郎 衛 六 心 郎 郎 七 郎 八	

⑥弘化五年（一八四八）名寄帳

番号	八	七	六	五	四	三	二	一	○	九	八	七	六	五	四	三	二	一	○
氏	久	彦	嘉	夏	粟	善	新	長	篠	彦	佐	又	善	森	芝	彦	隆	太	
名	田	谷	五	右	為	右	左	右	彌	利	權	彌	左	右	三	重	三	衛	衛
石	門	平	門	治	郎	門	門	門	衛	市	門	郎	七	郎	治	門	寺	門	
高	五	五	六	六	七	八	八	一	〇	二	一	三	三	三	一	五	一	八	三
	五	六	六	八	八	五	一	六	六	五	二	二	九	〇	七	四	二	三	三
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	五	六	六	七	九	一	一	五	九	五	二	七	一	二	三	五	一	三	三
	五	五	五	九	九	六	五	五	八	一	四	三	五	二	六	七	四	二	二
	一	五	五	八	八	五	五	五	八	一	四	三	五	二	三	五	一	三	三
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	一	〇	九	八	二	七	二	六	五
	〇	九	八	七	六	五	四	三	三	三	一	〇	九	八	二	七	二	六	五
	道	場	助	道	場	与	儀	辺	坂	孫	文	三	久	重	定	市	藤	新	四
	場	場	助	道	道	與	儀	辺	坂	孫	文	所	郎	右	太	治	兵	兵	庄
	常	源	右	新	德	榮	左	右	太	右	左	左	郎	右	左	右	左	左	御
	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	六
	七	門	門	門	衛	七	衛	助	門	門	門	平	郎	七	衛	助	門	門	分
	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	四
	六	六	六	七	七	八	八	八	一	一	二	二	三	四	四	五	四	六	五
	一	五	一	三	一	七	三	九	二	二	五	〇	一	二	九	四	九	一	二
	三	一	一	五	七	三	九	五	五	二	五	五	一	五	二	九	〇	四	六
	九	九	九	五	八	八	五	五	〇	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	三	三	三	四
	六	六	六	七	七	八	八	八	一	一	二	二	三	四	四	五	四	六	五
	一	三	一	三	一	七	三	九	二	二	五	〇	一	二	九	四	九	一	二
	三	一	一	五	七	三	九	五	五	二	五	五	一	五	二	九	〇	四	六

六六六五五五五五五五五五五四四四四四三二一
二一〇九八七六五四三二一〇九四八七四六四五四三二一

利嘉清小友夏栗伊伝与弥治道場太林利佐田利佐田道場要篠垣
左左右右弥三左兵郎右利伊治佐大
兵兵左平右治
衛衛衛衛三衛治衛衛兵三次七
門門七門門郎衛衛門衛門郎門衛助助郎郎七郎

一·一·一·一·一·一·一·一·一·一·一·一·
·二·二·二·二·二·三·四·三·五·四·五·五·
·三·四·一·二·九·〇·五·五·七·五·五·七·五
·四·一·七·九·〇·五·五·二·八·七·五·三·五·
·五·九·一·二·八·四·二·九·一·三·四·一·二·
·六·三·八·七·九·一·一·七·九·七·一·二·八·
·七·二·一·〇·九·八·七·六·五·四·三·二·一·
·八·三·二·一·〇·九·八·七·六·五·四·三·二·一

孫友勘又治吉源伊利儀彦仁政弥龜松久佐孫文伊市
右右郎右右郎右右郎右右郎右右郎右右郎右右郎
三右平兵五三治五三治五三治五三治五三治五三治
衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛
郎七門門衛門吉門治門衛平郎門郎門平門郎助門

一七七五一一八〇一八七二四一四三五二八四五三一五三二五三三八三四六三五五七三七七三八七三九四五四〇四四二九一四三八四八八四九〇四五五〇四五五五五五

計	七	四	八	七	二	二	人	人 數
	五	一	二	三	二	一	人	石 高 區 分
	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	石
	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	三	五	八	五	九	六	五	六
	五	三	五	四	九	六	五	七
	一	四	六	七	六	〇	七	石
	〇	一	〇	〇	〇	〇	七	五
	六	〇	九	〇	〇	〇	〇	〇
	〇	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	一	〇	〇	三	一	五	一	%
	〇	〇	三	一	五	一	四	一
	四	三	八	三	八	一	〇	九

總	計	九	九	九	九	〇	八	九	八	八	八	八	五
		芳	久	常	忠	庄	平	伝	長	紋			
		五	兵	光	兵	三	兵	三	五	治			
		郎	衛	寺	八	衛	郎	六	郎	郎			
		三	五	五	·	一	〇	六	三	一	二	七	一
		〇	五	〇	七	九	〇	八	二	一	八	二	一
		一	六	五	九	〇	八	三	五	一	三	一	一

番号	二、猪爪村人別石高集計一覽表												
氏	①延宝七年（一六七九）名寄帳												
名													
石													
	五百三十三二〇九八七六五四三二一												
右左郎	喜助弥半市惣六市六五市又茂次治												
兵五	右郎郎右郎右右左郎兵												
衛衛兵	兵右左左兵衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛												
	衛郎門門衛衛門門門門門門門衛衛												
三	三	三	四	六	七	八	九	一	一	一	二	二	二
三	三	三	四	六	七	八	九	七	七	九	九	九	九
三	三	三	四	六	六	六	七	六	四	八	八	八	八
二	二	二	三	三	三	三	四	五	五	四	四	四	四
二	二	二	四	六	六	六	六	四	四	四	四	四	四
〇	〇	〇	七	九	九	九	九	三	三	三	三	三	三
六	六	六	九	九	九	九	九	二	二	二	二	二	二
一	一	一	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	二
七	七	七	九	九	九	九	九	一	一	一	一	一	一
三	三	三	九	九	九	九	九	六	六	六	六	六	六
三	三	三	六	六	六	六	六	四	四	四	四	四	四
二	二	二	五	五	五	五	五	四	四	四	四	四	四
一	一	一	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	二

三二一 茂又治 左右兵衛衛 門門衛	番号 氏名 石高	(2)享保十五年(一七三〇)名寄帳	人數 石高区分					總計	一七 甚彦
			計	六	五	四	二〇人		一六
			五	一〇	二〇	三〇	二一〇		一一
			五	五	五	三〇	三〇		一一
			一六七	一八·八	四〇·四	五七·三	五〇·五〇		一九
			一七三	一七三〇	四六七	三三四〇	三〇三		右衛
			一	八五	七一六	七二六	七二六	一七三〇	郎門
			一〇〇	一一·二	一二·二	三四·二	三〇·二		二·四五〇
			○	二九	二九	二九	二九		一·五〇

二二二二二二二〇一九八七六五四三四一〇九八七六五四

庄伊吉市五太吉利久文嘉六吉八八太宇吉徳武八勘
 左右左右郎郎郎右左右右兵兵兵兵兵兵兵
 兵兵兵兵右右右衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛

一一一一二二三三三二〇三三三三三四四四五五六六七七八八
 四五五五七七六三二〇二二三三五二三五五二二二二二二
 七八八四四〇九一六六三三二二三五二二二二二二二二二二

三 三 三 三 三 二 一 ○ 九 八 七 六 五
六 五 四 三 二 一 ○ 九 八 七 六 五

仁	八	六	中	谷	目	土	八	伊	奈	佐	路	中	治	太	市	治	惣	儀	磯	屋	八	宗	八	代	坂	居	代	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右
左	吉	右	吉	太	清	弁	九	吉	彦	左	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右	右	郎	右														
郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	三	左	治	兵	兵	兵	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛													
衛	右	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛													
門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	次	衛	衛	門	郎	門	門	門	郎	衛	門	八	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門														

.	一	一	一	一	一	一	二	二	二	三	三	四	四	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	
七	八	七	八	八	八	八	九	九	○	一	二	三	四	九	一	八	九	○	一	八	五	五	五	七	七	五	三	三	三	三	五	五	五	五	五
八	○	三	三	三	三	三	〇	七	五	〇	一	六	二	〇	二	六	四	六	〇	三	六	三	三	三	四	一	五	五	五	五	五	五	五	五	
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	

五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	三	三	三	三	八	七	七	六	八	七	七	
八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三

太	申	吉	六	武	孫	十	宮	中	德	善	五	德	猩	善	太	德	作	中	喜	六	市														
右	郎	右	左	人	惣	右	市	右	右	右	郎	左	左	藤	郎	右																			
武	衛	衛	衛	衛	右	仲	右	兵	右	右	兵	左	左	兵	右	右	左	左	右	兵	兵	兵	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛		
左	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛		
助	門	門	門	門	(特)	分	門	衛	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門	門		

○	○	○	一	一	一	一	七	一	八	一	九	二	三	二	二	一	三	三	三	三	三	四	四	四	五	五	六	六	七	七	八	八	九	九
一	三	三	○	一	三	二	四	○	一	七	四	一	八	○	一	九	九	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一
三	三	○	一	三	二	四	○	一	七	四	一	八	○	一	九	九	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇

五四三二一	番号
孫市新村新村	氏
郎久右太郎	名
大右左衛右衛	石
衛衛衛門門門	高
九一五・八四六 八四六 八四〇二三	石
一八五 一八〇 三八五 三八四 六四六	高

①寛文十一年（一六七一）名寄帳

三、谷村人別石高反別集計一覽表

人數	石高区分	總計
計四四一〇四人	二〇〇石	一六六・七八七七
五〇五人	五三・石	
一六六・七八七七	七一八〇	
一〇〇	三二・二〇	
二八・九〇	%	

二六二五二四三三二〇九八七六五四三二一〇九八七六

甚源宮太次惣利九仁惣新弥嘉文喜市五太助八塙彦

左郎	右郎	左兵	右兵	治兵	左兵	右兵	右兵
九右	右衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛

郎門分門門分門口藏田門衛門郎門門衛衛門門門

一	一	一	二	二	二	二	六	六	七
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
三四二〇	九七	七三	九八	七五	五八	四八	四五七〇	五九八六	五四七八
五六〇〇	三六〇〇	四一〇七	四二八〇	五三四〇	八六三四	六七四八	七〇九四	七〇九四	九四六九

第十八章 資 料

計	二六二一一人	人 數		
	五〇二〇三〇二〇石	石 高 分		
一	六二四三三二三九石	石 高 計		
五	七三三〇八石			
一	五四九三八四九四六			
九	四六〇七八四六			
二	三一九五三三四五			
四	二八九五	%		
			一六五·一九一四	二九七一
			〇七六〇	二七八四
			一三三〇	二六四〇

総 計	一一二二一一〇九八七六五四三二一	番 号	②延宝四年（一六七六）名寄帳
	□宮彥弥惣久長与助孫宇助孫徳弥		
分	□三五二一太七兵七兵兵衛	氏 名	右 衛
	分郎郎分七郎郎郎衛郎衛門		
一六〇·四三六	一一三三四四五五六九一〇一四二七〇石	石 高	
	二一七八六一九二九〇一五三三一三六一九二八九二五六四三五七五六八〇一〇五九		

第三部 近世

八七六五四三二一						番号	(3) 安永六年(一七七七)名寄帳		
源助	八	左	右	右	久	市	新村		
次			右	右	郎	太			
良	衛	衛	衛	衛	衛	衛	新村		
門	門	門	門	門	門	門			
二	三	三	三	九	〇	一	五	三石	高
九	〇	一	六	八	九	八	五	〇	一
二	八	二	六	〇	八	〇	三	五	六〇
一	九	九	九	九	九	四	九	三	九
	〇	二	六	〇	九	〇	九	三	九

計	七	四	二	一	一	人	人
五	一	〇	二	〇	三	〇	石
一	〇	二	〇	二	〇	三	〇
五	〇	一	〇	二	〇	三	〇
一	六	〇	一	一	二	六	〇
四	三	六	〇	一	七	五	〇
三	三	〇	九	〇	五	五	七
一	〇	九	〇	九	〇	九	〇
三	一	〇	九	〇	九	〇	九
一	〇	九	〇	九	〇	九	〇
三	一	〇	九	〇	九	〇	九
一	〇	九	〇	九	〇	九	〇
三	一	〇	九	〇	九	〇	九
一	〇	九	〇	九	〇	九	〇
三	一	〇	九	〇	九	〇	九
一	〇	九	〇	九	〇	九	〇

〇九八七六五四三三一〇九八七六五四三三一〇九

甚甚伊イノツメ宮小浅五源孫太惣利彦新勘忠奈佐路
 九九兵友右右郎左左太右文右左
 邸衛衛衛衛衛治衛衛
 郎郎衛門分門門門夫門分門門門郎郎衛門衛門

一 一 一 一
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 一
 二 二 七 四 六 九 六 一 二 七〇 一 二 七八 一 二 〇 七 一 一 〇 九
 五 一 二 〇 九 一 一 〇 九 一 一 〇 九 一 一 〇 九 一 一 〇 九 一 一 〇 九

四三二一	番号	計 二七一二一〇人	人 数	三一
市長新村	氏	五〇〇~一〇〇石	石高区分	一与
郎太与		八四·一〇七三〇石	石高計	太郎治
右左衛門	名	一〇〇~三二·六九	%	八四·一〇七三
衛門吉門	石高	一一·六九		〇二一〇
六八·一〇·一一·石 五一九五八 一四三		二七·五五		
一一·三八·三八 六六四		三〇·四四		
		一一·六九		
		三二		

六	五	四	三	三	二	一	〇	九	八	七	六	五
泰佐路 イノツメ	多	中	惣	利	孫	九	新	太	文	多	喜	又
市郎次郎	右	右郎	兵	兵	兵	八	左	右	右	右	右	右
右左衛門	德	治	衛	兵	衛	後	衛	衛	衛	衛	衛	衛
門吉門分	分	門衛	衛	郎	助	家	衛	門	門	門	門	門
七三二六	〇〇〇	〇〇〇	一六七〇	一六七〇	四二三五	四二三五	五六九三	六六八六	九七二五	九八〇九	〇八〇三	一·三〇五
六六七	〇〇〇	〇〇〇	一六七〇	一六七〇	四二三五	四二三五	五六九三	六六八六	九七二五	九八〇九	〇八〇三	一·三〇五
七	三	二	六	六	七	七	五	四	四	四	四	四

第三部 近世

七六五四三二一	番号	⑤寛政二年(一七九〇)名寄帳	計二二二二人	人數	總計
磯市弥長太久新村郎右左右与右衛衛衛衛右衛	氏		五〇〇五	石高区分	
七門門吉門門門	名		六四・七四九三八二六三一七二〇一	石高計	六四・七四九三
四六七七八一〇〇一〇〇石 四九一四二七二二八七一一二八一四八	石高		一〇〇四三・六五	%	

二二二二三二二二三二二二〇一九八一六五四三二一〇九八

与孫孫宮太甚奈徳惣九後文新大市五太平彦奎助
路
 右郎次左右兵右郎右右右
 治右九右衛衛治寿左兵兵衛衛衛衛
 門七郎分門郎門門分門衛家郎門け門衛衛七門門門

○七五六	○九三八	一〇〇〇	一二〇四	一三三一	一三八四	一五八八	一六〇七	二九四〇	三七七六	三八二四	四八一四	八二五二	八五七七	九七三八	一〇二四三	一九六八	一四六九	一九五八	二〇五六	三三〇〇
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------

◎寛政四年（一七九二）名寄帳

	人 數	石 高 區 分	總 計	三 七 三 六 三 五 四 三 三 二 一 〇 〇
				孫 利 文 甚 太 伊 磯 次 郎 右 兵 九 兵 衛 右 衛 衛 門 七 郎 吉 衛 門 門
				七 七 · 三 六 一 〇 〇 一 八 九 〇 二 五 六 七 〇 六 六 七 〇 六 六 七
	%			

番 号																		
九 八 一 八 七 六 五 四 三 二 一 〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一																		
伊 太 太 太 五 文 新 平 市		八 塙 助 彦 弥 市		久 与 孫 太		郎 右 兵 治 兵 衛		郎 左 右 右 右 衛		右 三 右 太 衛 衛		右 三 右 太 衛 衛		右 三 右 太 衛 衛		右 三 右 太 衛 衛		
兵		兵		衛		衛		衛		衛		衛		衛		衛		
衛 吉 助 衛 郎 門		七 門		門		門		門		門		門		門		門		
名																		
石 高																		
六 〇 六 〇 一 〇	六 〇 七 五 四 五	七 六 三 五	八 二 一 九	八 五 三 二	八 九 〇 二	九 三 三 四	〇 九 四 〇	一 · 九 四 六 八	二 · 三 七 四 八	二 · 一 三 五	六 · 二 〇 六 三	七 · 三 一 五 五	九 · 七 九 四 三	九 · 四 〇 二 八	九 · 七 五 九	九 · 七 四 〇 七	九 · 七 五 九	九 · 七 四 〇 七

第三部 近世

番号	⑦寛政五年（一七九三）名寄帳	計		人 数	石 高 区分	總 計	二〇二一三二三三四二五二六							
		二〇	六〇				喜 磯 惣 徳 九 伊 弥	右 右 兵 兵	八 門 分 門 衛 八 衛	四八三九	四〇五九	一四五六	四八三一	四〇三九
与三左衛門	氏名	五 〇 五 一〇	二〇 〇 一〇	二〇	石 高 計	六九 一九 〇六 六六 七	四九 · · 一三 三五 五	〇 石	右 衛	兵 衛	八 門	分 門	衛	八 衛
二一八六八一	石 高	一〇〇	二七 · 七〇	七二 · 三〇	%	六九 · 〇六 六六 七	〇 六〇 一	〇 六〇 一	〇 七八 四	四〇 五九	一四 五六	四八 三一	四〇 三九	四八 三九

三三二〇九八七六五四三二一〇九八七六五四三四二

徳宮次惣九喜文又市平太八新彦助塙太市弥孫太
 左右左右郎右郎右郎右郎右郎右太
 衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛
 門分門分門衛門郎衛門七助門門門門衛門門夫門

一〇七三九五
 一〇六五八六
 一〇五七五七
 一〇四一六一
 一〇三九三八
 一〇三五五九
 一〇二一〇六
 一〇二二一〇六
 一〇二二五七
 一〇九〇六六
 一〇六八六六
 一〇九六六八
 一〇八四八七
 一〇五〇二一
 一〇四八二一
 一〇二六一七
 一〇二五六三
 一〇二三四三
 一〇一七二五
 一〇一六〇七

人 數		三 三 三 三 二 二 二 二 二 二 二 二									
石 高 區 分		文 甚 弥 伊 太 磯 与 太 孫 甚 郎 右 右 三 兵 兵 右 九 衛 衛 衛 七 郎 衛 衛 吉 門 門 門 七 郎									
石 高 計		八 二 六 四 八 二									
一〇〇 三六一〇五二〇〇 七七 三八八五		〇〇三一九〇四八〇六六〇六六〇六六 一一〇 一四七九 一一六九 一一一〇七									

番 号												⑧嘉永三年(一八五〇)名寄帳
文	与	孫	奈	佐	善	助	新	彦	元	八	五	
奈	佐	路	三	右	八	右	右	右	左	郎	郎	右長
市	右									兵	右	右
郎	右									衛	右	太三
左	衛	衛	三		衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛
門	門	門	八	吉	門	門	門	門	衛	門	門	夫郎
面 積												
二四	二六	二八	二九	二三	三六	四六	四八	五五	五六	五六	五六	一九八
二九	七〇	七八	二五	一〇	〇八	一二	一四	一二	一二	一二	一二	一〇七
.

第三部 近世

四三三三三三三三三二〇九二二六二五二四二三二二一〇九

孫	イノツメ	奈佐路	藤井	太	九	奈佐路	ノイツメ	治	中	イノツメ	奈佐路	中	奈佐路	イノツメ	四	吉	李	与	
右	イノツメ	奈佐路		文	左	又	治	郎	五	太			利	義	与	平	郎	郎	右
惣	八	儀		兵	右	右										八			
衛	治	右	衛	五	衛	左	兵	衛					太	郎	兵	兵	衛	衛	
門	郎	門	平	郎	助	門	衛	門	門	衛	門	吉	平	八	平	夫	衛	衛	門

五五六六六六六八八八一〇〇〇三·四·一·四·一·五·一·八·二·三·二·四·
·〇二〇〇〇〇一·一·二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇四·
八一〇〇五六八〇九八九二八一〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇二〇四·〇六

総 計	五	五	五	五	五	五	五	一〇	四	九	四	八	四	七	四	六	四	五	四	四	三	二	一
	小	太	奈佐路	中	伊	甚	辻村	伊	嘉	イノツメ	太	源	孫										
	右	春	孫	伊	磯	治	藤	清	左	奈佐路	半	郎	右										
	三	右		右	右	治郎	左	右	右	長	右	右	右										
	衛	衛		衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛										
	門	郎	治	門	平	門	門	郎	門	平	門	門	門	衛	門	門	郎						
一四八六・二五五																							
〇·一·一·一·二·二·二·二·二·三·三·三·三·四·四·四· ·二·〇·一·一·九·六·六·〇·六·〇·三·〇·二·〇·三·一·三·一·五·一·七·一·五																							

番号	氏名	面積	人數		
			計	四三	一二
一〇九八七六五四三二一			人數	三	二〇
市 杞 元 又 八 彦 長 太 孫 太 郎 右 右 左 右 右 郎 右 兵 太 衛 衛 衛 衛 衛 衛 門 門 門 衛 門 門 門 門 夫 衛			反別区分	一〇	一
五五五七〇八一九三〇一八〇二一五 二〇七八五〇四五九二五七五			面積計	一四八六 ·二五五	四五〇·セ
三三三二〇九八二六二五二四三三二〇九八七六二五四三二一			%	一〇〇	三〇·二八

三三三二〇九八二六二五二四三三二〇九八七六二五四三二一

与 イノツメ 孫 治 中 九 イノツメ 義 奈 佐 路 源 中 四 与 長 弥 市 弥 文 善 治 助 新
右 治 右 郎 五 左 兵 太 平 右 利 郎 三 右 郎 右 郎 右 右
衛 左 衛 兵 衛 衛 兵 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛
門 門 門 衛 門 衛 吉 八 十 門 平 衛 門 衛 門 門 八 門 吉 門 門

八八九〇一〇一二一四一四一六一七一八
二二二〇三二〇二二〇二〇二〇一三二
四八四九三九八〇六七一三二
一四五

四、殿村人別反別集計一覽表

①元禄四年（一六九二）三月

殿村檢地水帳

番号

氏

名

面積

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 二 三 一 〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一

惣 庄 源 市 五 弥 太 九 九 四 佐 仁 九 九 理 市
 右 右 郎 五 郎 右 郎 治 左 郎 郎 左
 五 左 右 兵 右 右 左 右 兵
 衛 衛 兵 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛

分 郎 門 門 門 門 衛 衛 門 門 門 門 門 門 衛

三	六	三	七	四	〇	四	一	四	三	五	二	〇	五	一	八	五	一	六	五	一	八	五	一	七
·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	
〇	一	四	六	二	一	二	三	〇	三	六	二	四	一	五	七	五	二	二	一	一	一	一	一	
四	六	〇	九	五	四	五	四	〇	三	九	九	二	七	五	八	六	四	七	六	七	八	〇	八	
一	五	九	〇	〇	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	

三 三 三 三 三 三 三 三 三 二 二 二 二 二 二 二 二 一 〇 九 八 七

弥 利 久 小 善 長 七 市 五 孫 太 惣 忠 久 久 八 彦 与 市 平 重 孫

右 左 左 郎 郎 郎 左 右 左 右 三 郎 右 右 右
 三 兵 五 右 右 太 兵 兵 兵 左
 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛

門 門 郎 衛 郎 門 門 門 衛 夫 門 門 衛 衛 門 衛 門 門 衛 門 門 衛

三	四	六	六	七	九	一	一	二	一	三	一	五	一	六	一	八	一	〇	二	二	三	一	二	二
·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	
一	〇	一	一	一	〇	二	二	一	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	〇	一	一	一	一	一	
〇	〇	〇	四	一	八	〇	一	三	二	九	三	五	六	〇	一	二	〇	一	三	六	〇	一	二	
〇	〇	〇	一	一	二	九	〇	一	二	七	二	五	四	五	〇	八	〇	九	〇	一	七	二	九	